

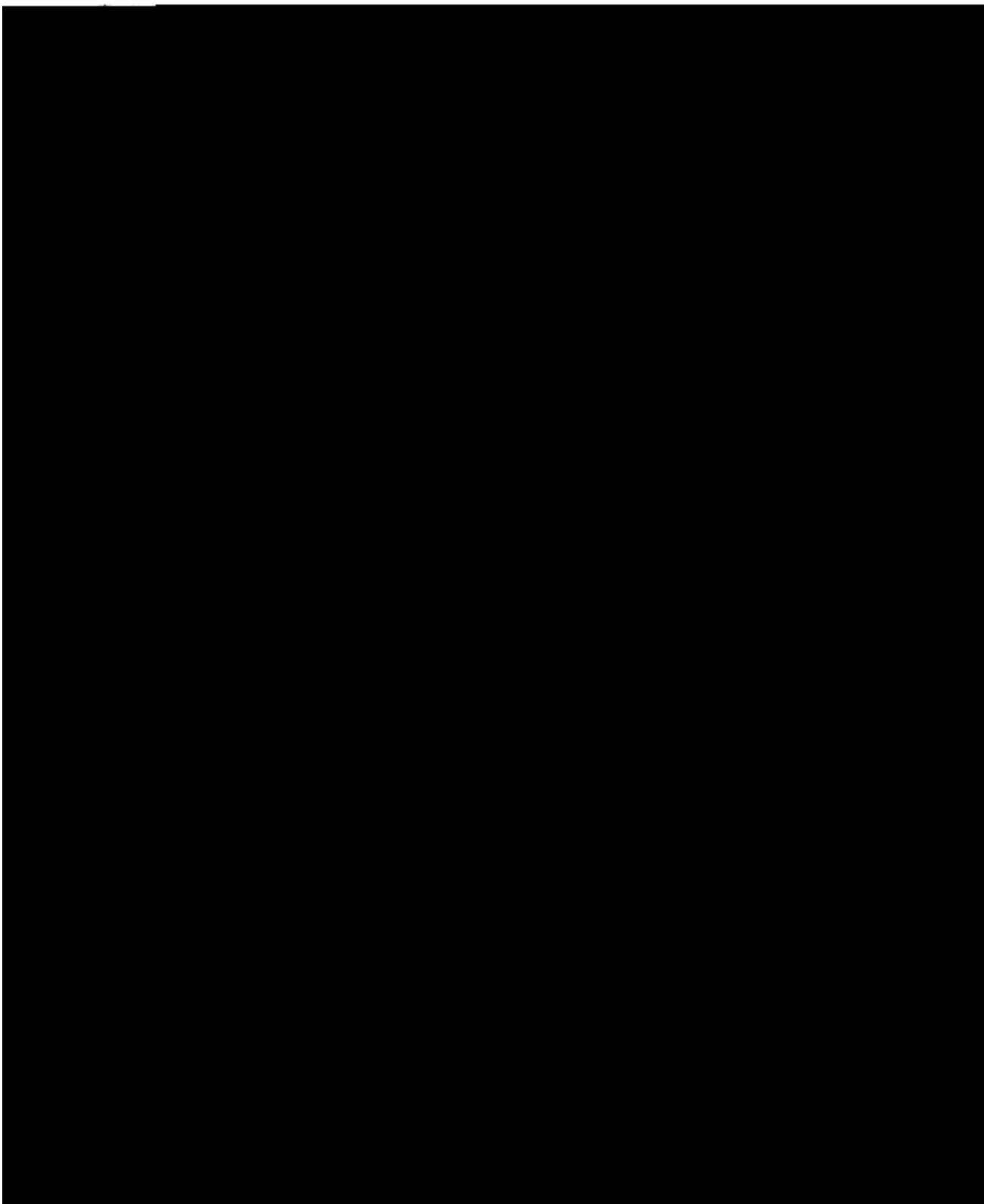
第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

--	--	--	--

当社グループを事業系統図によって示せば、次のとおりです。



- (注) 1 実線枠は連結子会社、点線枠は持分法適用関連会社であり、主要な会社のみ記載している。
2 川重冷熱工業(株)は東京証券取引所 J A S D A Q (スタンダード)に上場している。

第 2 【事業の状況】

E02127)

ガスタービン・機械事業

連結受注高は、航空エンジン分担製造品やガスエンジンの増加などにより、前年同期に比べ684億円増加の2,127億円となりました。

連結売上高は、航空エンジン分担製造品の増加などにより、前年同期に比べ94億円増収の1,591億円となりました。

営業利益は、売上の増加などにより前年同期に比べ40億円増益の111億円となりました。

プラント・環境事業

連結受注高は、国内向け石炭火力発電所灰処理装置やごみ焼却プラントの増加などにより、前年同期に比べ187億円増加の1,002億円となりました。

連結売上高は、海外向け化学プラントの増加などにより、前年同期に比べ110億円増収の832億円となりました。

営業利益は、売上の増加などにより前年同期に比べ13億円増益の36億円となりました。

モーターサイクル&エンジン事業

連結売上高は、インドネシアほか新興国向け二輪車が減少したものの、先進国向け二輪車や四輪車が増加した結果、前年同期に比べ59億円増収の2,188億円となりました。

営業利益は、売上の増加などにより前年同期に比べ2億円増益の43億円となりました。

精密機械事業

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(7)【議決権の状況】

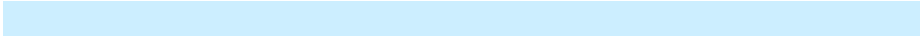
当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、当社として把握することができないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成27年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成27年12月31日現在

--	--	--

- (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 - 【四半期連結損益計算書】
 - 【第 3 四半期連結累計期間】



(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

前連結会計年度 (平成27年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)	
(1) 銀行借入金等		(1) 銀行借入金等	
大連中遠川崎船舶工程有限公司	9,007百万円	大連中遠川崎船舶工程有限公司	10,668百万円
南通中遠川崎船舶工程有限公司	4,810	南通中遠川崎船舶工程有限公司	3,857
日本航空機エンジン協会	3,152	日本航空機エンジン協会	3,471
上海中遠川崎重工鋼結構有限公司	1,889	上海中遠川崎重工鋼結構有限公司	2,346
同方川崎節能設備有限公司			

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していない。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりである。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
減価償却費	32,894百万円	36,538百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準間 基準外	繰上 繰下	

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)
E02127)

(2) 実施した会計処理の概要
E02127)

2 【その他】

E02127)

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年2月10日

川崎重工業株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公証 渡
業務執行社員